

財団法人阪本精神病理学研究所助成事業  
医療法人聖和錦秀会 阪本病院

「精神病理学を考える研修セミナー」第4回目

ACTチームによる

# 精神障がい者への包括的支援

ACT ACT ACT ACT

講師：高木俊介氏（ACT-K主宰）+ACT-Kスタッフ2名様  
事例提供者：高取佳代氏（花園地域生活支援センター）  
：福島光子氏（阪本病院1-1病棟師長）



地域での患者さんの生活を支える試みとして、近年ACTが注目されています。中でも先駆的な役割を果たした京都のACT-Kのみなさんに来て頂いて、共に治療の在り方を考えていきたいと思えます。

ACT(アクト): Assertive Community Treatment(包括型地域生活支援)の略。医療サービスを含む頻回の在宅訪問などアウトリーチを主体とした、医療・保健・福祉の包括的な支援プログラム。精神科医・看護師・作業療法士・精神保健福祉士などの多職種がチームを形成し、個別の支援計画によって医療・生活・就労など多彩なサービスを提供する。原則として24時間365日対応。

日時

2012年6月30日(土)

午後1時～午後5時（午後12時半開場）

対象

医療従事者（30名程度）

事前申し込みが必要  
応募者多数の場合先着順

申込

裏面の申込用紙にて

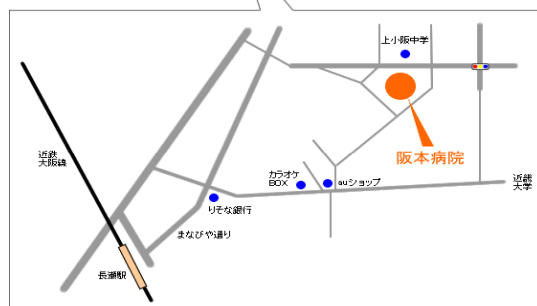
2012年6月22日(金)申込締切

場所

阪本病院 ふきのとう会議室  
大阪府東大阪市西上小阪7-17

お問い合わせ

医療法人聖和錦秀会 阪本病院  
研修セミナー事務局 吉村・夫(フ)  
TEL06-6721-0344 FAX06-6730-3651  
メールアドレス seminar@smhc.or.jp



セミナー終了後（午後6時～）、場所を変えて懇親会を開催いたします。引き続き参加ご希望される方は、裏面の懇親会参加のところに○を付けてください。（費用4,000円。詳細は懇親会参加希望者に追ってお知らせいたします）